

高尾山報

令和2年4月号

天焦がす

柴燈護摩火

山開き

新型コロナウイルス感染症早期終息祈願

柴燈大護摩供嚴修

法の水差

大正大学講師 高橋秀城

(94)

今年の春は足早にやっ
て来たようです。気象庁
は、三月十四日に東京で
の桜の開花を発表しまし
た。観測史上最速の開花
宣言だそうです。

高尾山の麓、ケーブル
カー清滝駅前広場のソメ
イヨシノも、三月中には
満開の春爛漫を迎えまし
た。桜前線は、山麓から
中腹の薬王院へと歩を進
め、今は山頂のヤマザク
ラが見頃となっているで
しょうか。全世界で疫病
が流行している中であっ
ても、自然の営みは何ら
変わることもなく、私たち
の心に温もりを与えてく
れています。

桜花

散りぬる風の

なごりに
水なき空に

波ぞ立ちける
〔古今集〕紀貫之

（桜の花が春風に吹かれ、
その通り過ぎた風の余韻
として花びらが散っている。
それはまるで、水の
ない空に波が立っている
かのよう）

桜の花は、咲いた順に
散っていきます。その折
を知って、春風は吹き抜
けるのでしょうか。この
歌の第三句「なごり」には、
花の「名残」と波の「余
波」が掛詞として詠み
込まれています。作者の
貫之は、空を海に喩え、
散る桜の花びらを、風
が静まった後もなお立っ
ている波に見立てました。
はらはらと散る花びらは、
通り過ぎた春風の道を、
知らせる置き土産かも知
りません。

す。初物と呼ばれる「走
り」、最盛期の「旬」、
去りゆく時節を惜しむ
「名残」というように、
季節の移ろいを表してい
ます。四季折々の豊かな
食材を味わうことができ
るのも、四季を持つ日本
ならではの楽しみでしょ
う。

春の「名残」の時期に
も「旬」があり、そこに
は既に初夏の「走り」も
準備されています。言い
換えれば、今この「瞬が
「旬」であり、「旬」に
は「走り」と「名残」
も含まれていることにな
ります。こうした細やかな
季節の移ろいに思いを
馳せることは、仏教で言
うところの無常観（全ての
の移り変わりを心静かに
観じること）にも通じる
ところがあるような気が
します。

無常観を語る古典文
学作品といえば、『方丈
記』の冒頭を思い浮かべ
る方もいらっしゃるで
しょう。

行く河の



三月中には満開となった清滝駅前の桜

流れは絶えずして、
しかも、もとの
水にあらず。
よどみに浮ぶ
うたかたは、
かつ消え、かつ結びて、
久しくとどまりたる
例なし。
世中にある人と栖と、
またかくの如し。

〔方丈記〕序章

以前にも書かせていた
だきましたが（高尾山
報「五九四号」、鴨長明（一
一五五頃）二二六、出
家して法名・蓮風）は、
実際の川を眺めながら、
そこに「変らないもの」と
「変わるもの」を感じ取っ
ています。

時の流れに目をやれば、
「よどみ」という言葉も

注目されます。「よどみ」
は「澱み（淀み）」と書き、
「流れが滞ること」を意
味します。川の澱んだと
ころでは、水の泡（泡沫）
が消えたり生まれたりし
ているように、人間もま
た死んだり生まれたり、
住まい（栖）も壊したり
建てたりを休むことなく
繰り返しています。「澱
む」の対義語は「流れ
る」ですが、私たちは
川のような時の流れに身
を置きながら、少し流れ
が弱まった「澱んだ世の
中」（濁世）に生きてい
るのでしょいか。さまざま

まな煩惱（欲望）や俗世
の汚れに染まらい、清ら
かで美しい「泥中の蓮」
という言葉が思い出され
ます。

兼好法師（二二八三頃
一三二二以後）の『徒
然草』にも、無常につい
て語られた章段がありま
す。

古歌に詠われる飛鳥川
の淵や瀬のように、この
世の中は常に姿を変える
無常の世である。時は移
り、物事は過ぎ去って、
喜びも悲しみも入り交
じって流れていく。華や
かだった土地も、人の住

まない野原となり、同じ
家が残っていたとしても
住人は変わってしまった
る。

毎年のように花を咲か
せる桃や李は何も語るこ
とをしない。いったい私は
誰と遠い昔話をしたら良
いのだろう。それにもま
して、見たこともない古
の高貴な方が住んでいた
跡などは、とても儚く感
じるものである。

でしよう。長明や兼好の
時代から現在にかけて、
人も家も存在しています
が、同じ人も同じ家もあ
り続けてはいません。そ
れは、春夏秋冬、その時
その時を彩る草花にして
も、一見毎年咲いている
ように見えて、次の世代
へと受け継がれているので
す。

あちら側の夏の岸と、藤
の花は、どちらが色美し
く咲くのだろうか。私が
今いる川の兩岸には、藤
の花房が優雅に枝垂れて
いるよ）

「藤」には「淵」が掛
けられています。藤の花
の深い色合いは、春と夏
のどちらの光に似合うで
しょう。季節の変わり目
の川をゆつくりと下りな
がら、濁世に染まること
のない自然の命の輝きを、
しっかりと目に焼き付け
たいと思います。

（栃木北部教区普濟寺）

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様、 関係者の皆様にご挨拶申し上げます

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様、

高尾山では、新型コロナウイルスによる感染症に罹患された方々の快復と、一刻も
早い感染症の早期終息を、毎日の御護摩供において祈念致しております。

また、高尾山における各行事につきましても、今後中止や延期、または縮小する
場合があるため、最新情報につきましては公式ホームページをご覧頂るか、お電
話にてお問い合わせ下さい。

大本山 高尾山 薬王院

高尾山年代記

4

明治大学博物館 外山 徹

三世源尊 関東管領上杉氏

高尾山二世源廣の寂年とされる明德三年（三九二）に南北朝は合一し、半世紀以上にわたった対立にひとまずの終止符が打たれた。三代將軍足利義満は花御所や金園の造営でも知られる傑物として、室町將軍の中では比較的安定した治世を実現した。しかし、関東の地においては、飯縄大権現が夢告で「叔世辟多し。諸魔まことに繁くいたずらになす」と表現する状況が相変わらず続くのである。

関東管領上杉氏

南北朝の争乱以来、小田原北条氏による覇権確立に至るまでの間、関東の情勢を左右する主役としてあり続けたのが上杉

れを機に関東に居所を移すことになる。上杉の姓は丹波国（京都府中部）にあった所領の地名に由来する。



権現大権現の飯繩に兜を備える甲冑を立てる相伝家上杉（伝上杉謙信所用重要文化財）
現を備える重要文化財
大権現の飯繩に兜を備える相伝家上杉（伝上杉謙信所用重要文化財）
現を備える重要文化財
大権現の飯繩に兜を備える相伝家上杉（伝上杉謙信所用重要文化財）

重房は、源義家の系譜を引く名門ながら執権北条氏治世下において雌伏する足利氏との間に姻戚関係を結んだ。子の頼重は足利家に出仕するが、その娘清子は尊氏・直義兄弟の生母となるなど、家中での地位を確固たるものとしていった。

上杉氏は管領職として鎌倉公方の脇に控えていたが、関東管領の最終的な任免権は室町將軍にあつた。むしろ、お目付け役として、代々の鎌倉公方の専横志向、室町將軍への対抗意識に対し、間に入つての調停役にふさわしい立ち位置にあつた。このことは、室町將

高尾山三世源尊

上杉氏は頼重の子・孫の代に分派した血筋が、各々屋敷を構えた鎌倉の地名を冠する複数の家系を形成した。頼重の子重頼は扇谷上杉氏、孫の憲頼は山内上杉氏の祖となり、この両上杉氏は後年覇権争いを演じることになる。上杉氏と言え

さて、話を高尾山に戻そう。再々お断りするように、この頃の高尾山の動静を具体的に伝える史料は残念ながら遺されてない。二世源尊に關する管見の最も古い記録は、天正五年（一五七七）・一七年・一八年付が一括された八世源實が九世源忠へ授与した印信（秘法伝授の証書）に添えられた

血脈で、有喜寺開山俊源僧都、源廣僧都の次に源尊僧都と記されている。天保四年（一八三三）の「由緒書」は、二世源廣の寂年を明德三年（三九二）とし、源尊の寂年とある永享五年（一四三三）二月一日から在任四年（數え年）をさかのぼると、源廣示寂の年に晋山した形となる。

二世から六世までの山主の中では、法流繼承以外の事跡がわずかに伝わっているのが源尊である。『新編相模風土記稿』の末寺上溝村安楽寺（相模原市上溝）の記事に、「開山源尊 永享五年二月廿三日卒」とある。同書の「高座郡之部」は天保三年（一八三二）の成立と、先の実の由緒書の以前、また日に相違があるので、別に源尊の寂年が記された未知の記録が存在した可能性はある。とは言え、江戸後期における永享五年の昔の記事となると、どこまで正確が期せるか

上杉禪秀の乱

鎌倉公方は、室町將軍のいわば代官として東国の支配にあつてきた。

代々の管領職との間にはいさかいが絶えなかったが、四代持氏の時代になつて、それは決定的な破綻をきたすことになる。持氏が公方職を継いだのは応永一六年（一四〇九）のこと。二二歳の時であつた。同一八年、管領職には大懸上杉氏の氏憲（禪秀）が就くが、常陸国（茨城県）小幡氏の処罰をめぐつて紛糾し、管領職を辞するという事態となる。持氏は禪秀に代わつてそのライバルである山内上杉氏の憲基を後任に据えた。一方、各地でも跡目相続や裁決をめぐつて持氏に反感を持つ豪族があつた。

合戦は禪秀方が優勢で持氏・憲基は鎌倉から逃亡した。しかし、これをもつて禪秀の勝利とはならなかつた。室町幕府は駿河国（静岡県）の今川範政や越後国の上杉房方ら有力守護大名に叛乱の鎮圧を命じ、関東の諸將もこの軍勢に合流して行つた。一転、禪秀側には離反者が相次ぎ、鎌倉雪ノ下に追い詰められて首謀者は自害して果てた。

それならば、というところで、禪秀は持氏の叔父満隆と謀つて持氏弟の持仲を奉じ、応永三年（一四二六）、反持氏の行動に打つて出た。いわゆる、上杉禪秀の乱である。それまでも管領はたびたび公方を制止・諫言することはあつたが、このような武力によるあからさ

まな敵対行為は無かつた。禪秀は幅広い姻戚関係によつて、舅の武田信満をはじめ方々に有力な後援者を持つていた。また、持氏を快く思わない勢力も禪秀に呼応し、かくして、関東に再び戦端が開かれることになつた。

禪秀の乱は鎮圧されたが、関東の戦乱はこれだ終結とはならなかつた。今度は、持氏が一度は宥免した禪秀方に付いた面々の討伐に動き始めたのである。

鎌倉公方は、室町將軍のいわば代官として東国の支配にあつてきた。二代氏満、三代満兼と継がれるが、同族として常々室町將軍への対抗心を燃やしていた。また、当主が壮年の内に没したことから、若年の子息が公方に就任するといふことは、為政者としての資質を身に付けるには時間が不足していたようだ。そのため、

それならば、というところで、禪秀は持氏の叔父満隆と謀つて持氏弟の持仲を奉じ、応永三年（一四二六）、反持氏の行動に打つて出た。いわゆる、上杉禪秀の乱である。それまでも管領はたびたび公方を制止・諫言することはあつたが、このような武力によるあからさ

《参考文献》渡辺世祐『関東中心足利時代の研究』（雄山閣出版、一九二六）、黒田基樹編『論集戦国大名と国衆1 武藏大石氏』（岩田書院、二〇一〇）、同編『戦国期山内上杉氏の研究』（岩田書院、二〇一三）、『新八王子市史』通史編2 中世（二〇一六）



天狗さんと運動会とめいちゃん

上野原市 三代目鬼太郎
河上 繁

読者投稿

夏休みに山梨のじいじの家に遊びました。お庭でバーベキュー、スイカ割り、プールや花火など、いっぱい楽しめました。東京に帰る前の夜じいじは「生懸命練習して、落ち着いて走ればマラソン完走できるよ。大丈夫だよ！」と言って、高尾山の赤い天狗さんのお守りは、めいちゃんに緑色のお守りは、弟のやーちゃんに渡しました。

あくる朝、父ちゃん、母ちゃん、めいちゃん、弟で中央本線の電車に乗り東京へ戻りました。

私の名前は何ですか。みんなはめいちゃんと呼びます。年長さんのめいちゃんは三月生まれで、園のクラスでは背も低く、三年間列の一番前でした。かけっこもいつもピリで、鉄棒逆上がりも苦手です。

父ちゃんは小学生からサッカーをしていますので、走るのには自信があります。年長さんの運動会の競技は、障害物競走、おさるのかごや、八幡マラソン（七百五十メートル）、組体操、色別対抗リレーがあります。

夏休みにじいじの家から帰り、組体操の練習は毎日、家の中でやりました。父ちゃんが休みの日には、いつも八幡の柱（井草八幡宮）のマラソンコースを走りまわりました。

始めたときは父ちゃんが速く走るので、なかなか着いていきません。「はあ、はあ」と苦しかったです。運動会の始まる十月には、父ちゃんと話をしながら走れるようになりました。

運動会は雨が降って順

延になりましたが、当日は朝から日本晴れです。運動会午前最後の競技は園の伝統競技、年長さんによる八幡マラソンです。距離は七百五十メートルの八幡様の柱を走りまわります。

まずは男の子から先生のスタートの「バーン」で走り始めましたが、男の子一人が転んでしまいました。男の子はなかなか立ち上がり、泣きながら走りまわりました。

今度は女の子のスタートです。先生の「バーン」の合図が聞こえました。めいちゃんはずっとスタートしたのですが、足がもつれたのか転んでしまいました。その時何か、風が吹いたみたいでした。転んですぐ気が付くと、みんなは走り去り、めいちゃんは最後尾に。

めいちゃんは父ちゃんと練習したことを思い出して、「おちついて、おちついて」と考えながら走り出すと、中間地点の赤



スタートでは転んだけどしっかり走りました

2017/10/08

い大鳥居までたどり着きました。先生から中間地点通貨の大好きなピンク色のハンカチをもらいました。父ちゃんが教えてくれたように「おちついて」走り続けました。トラックに入った時、大歓声の応援です。めいちゃんは三人のお友達を抜き、最後から四番目でゴールしました。

競技が終わり、退場門にじいじが迎えに来ていました。その後、じいじと水道場に行き転んだ膝を洗ってくれました。じいじが「めいちゃん、転んだけど怪我してないよ」と言うと、「あれー？」と驚くめいちゃん。

それから、ばあばや母ちゃんの美味いお弁当の時間、唐揚げや春巻き、おにぎり、デザートには大好きなシヤインマスカットを食べて、元氣モリモリになりました。

いよいよ、幼稚園年長さんの運動会最後の競技、年長さん色別リレーの選手入場です。年長さんの二クラスを、紅・白・緑・紫の四チームに分けます。あれ？あれれ！赤色チームのアンカーがめいちゃん？走るのが苦手のあのめいちゃんか……！

すると間もなく第二ランナーが、先生の合図で一斉にスタートしました。赤色チームはみんなの力を合わせ、バトンタッチもスムーズで、何と二位

をキープし、二位との差が何とトラック一周以上もあります。

アンカーのめいちゃんに、赤色チームの走者かバトンがしっかりと受け渡されられました。「よっしゃー」とばあばが、叫びました。本音を言えば、じいじ、ばあば、父ちゃん、母ちゃんも、またひっくり返るかとお配です。その時、めいちゃんの背中が何か！風に押されていたような気がしました。めいちゃんはそれから二位の走者との差を徐々に広げていきました。

園庭は、園児や父兄の大声援でいっぱいでした。特に大きな声で「めいちゃん頑張れ！頑張れ！」と、大好きなばあばが何度も何度も応援してくれました。めいちゃんは父ちゃんの教えを守り、落ち着いて走り、風に乗って見事に一位で、ゴールインできました。

退場したら、じいじがやって来ました。ヒーローインタビューです。

じいじ 色別赤色チーム一位ゴールおめでとう

めい 緊張したけど、一位でよかったです

じいじ ところで、なぜアンカーに選ばれたのですか？

めい アンカーしたい人一杯いたけど、めいちゃんがけんて勝ったの

じいじ 幼稚園、最後の運動会よく頑張りました。感動を有難う

めい これから教室に戻ると

じいじ はいお疲れさまでした

めいちゃん教室で園長先生からのご褒美を頂き、園庭を後にしてお家に帰りました。マンショ



大声援を受けて一位でゴールしました

2017/10/08

ン七階のエレベーターを降りた時にじいじが言いました。

「八幡の杜の一番高い枝に天狗様が腰かけておられたのでしょうか？めいちゃんが練習を一生懸命したから、天狗様や八幡様が見守って下さったのですね。」めいちゃんは、「天狗様有難う、八幡様有難う。」と何度も、何度も言いました。

じいじは「今度みんなそろって高尾山に行こうか」と言いました。めいちゃんは「うん」と大きくうなずきました。

運動会は天狗様と八幡様の御蔭で無事にいい思い出となりました。高尾山へは、じいじ、ばあば、父ちゃん、母ちゃん、やーちゃん、みんなと一緒に行くの。めいちゃんが「ケイプルーカーに乗りたい」というとじいじが「いいよ」と言いました。めでたし、めでたし！

観音菩薩の宗教

28

国際教養大学特任教授 金岡秀郎

二十一ターラー菩薩を讃える経典 (その3)

前回に続いてチベット語を底本に『二十一ターラーへの讚』(以下、讚と略称)の和訳と解説を行う。

- (21) 汝を讃歎(す)る。完全に満ちた秋の百の月が
- (22) 層を成す尊顔は
- (23) 千の星の集まりの如く
- (24) 光の炎がこよなく広がる

(解説) (21) 前回の拙訳にはなかったが、(汝を)を補って訳す。(23) の「の」とはモンゴル語訳による。モンゴル語訳では(22)と(24)の末尾に「汝よ(ら)」が加えられている。

安蔵の漢訳は、「敬禮百秋朗月母/普遍圓滿無垢面/如千星宿俱時聚/殊勝威光超於彼」とある。

Sの注釈ではこのターラーは、「秋月のごとく白き光のターラー (Sgrol ma 'Od dkar can)」または「月光のターラー (Sgrol ma zla ndangs)」と呼ばれ、サンスクリット語ではターラー・シュクラ・カーンティ (Sukakanti)、またはターラー・チャンドラ・カーンティ (Candrakanti) となる。

Nの注釈では「弁才のターラー (Sgrol ma dByangs can ma)」サンスクリット語ではターラー・サラスヴァティー (Sarasvatī) となる。

／dana-viya-tapah-santi
／titkṣā-dīyāna-gocare
／kṛṣṇa kanakaは黄金／nīlaは濃く青／や総じて暗い色を表す語。abjaは「水より生まれた」を意味する。pāṇiは「手」、padmaは蓮華で特に「紅蓮華」を表し、vibhūṣiteは「荘厳する、飾る」の意。(33) (34) 布施などの徳目を挙げ、最後に「範圍、地域、領域」を意味するgocareの位格形で「範圍において」とする。これらが文の形をとらず、複合語として連結しているため、チベット語訳では動詞を入れるなどの苦労の跡が見られる。さらにその諸英訳には多様な解釈が生まれた。安蔵の漢訳は、「敬禮紫磨金色母/妙蓮華手勝莊嚴/施精勤行柔善靜/忍辱禪定性無境」とある。

Sによれば、「金色を有するターラー (Sgrol ma gser mdog can)」とされ、サンスクリット語ではターラー・カナカ・ヴァールニー (Tārā

Kanaka-varṇī) となる。Nでは、「無上の功德のターラー (sgrol ma bsod nams mchog gter)」で、サンスクリット語ではターラー・プニョットタム・ター (Tārā Puṇyotama-da) となる。また「富の光線」などを意味するヴァスダラー (Vasudhārā) やノルジュンマ (Nor rgyun ma) の名でも知られている。

- (41) 汝を讃歎(す)る。如来の肉髻に帰依する
- (42) その行いは果てなく勝れり
- (43) 一切の波羅蜜を得た
- (44) 勝利し者の子らに尊ばる

(解説) (41) 「如来の佛頂尊」はサンスクリット語でターガタ・ウシュニーシャ (tathāgato-niśa)。ウシュニーシャは仏の頭頂部にある肉が盛り上がった部分。密教で



॥ ॐ ॥

康熙版チベット語大蔵經にあるクルクッラーの図。ターラーでは珍しい忿怒相の一尊 (Karmay, Early Sino-Tibetan Art, Aris and Phillips Ltd. 1975 より)

- (3.1) 汝を讃歎(す)る。金・濃青色で水より生まれし (ターラーは) 蓮華により荘嚴せし御手を持つ (3.3) 与えること (布施・精進・苦行・)

- (3.4) 寂靜 (忍辱・禪定) は汝の行いの範圍に (あり)

Your Mind, Snow Lion, 2013) の英訳などによってさまざまに捉えられている。ここではサンスクリット語原文を主に、チベット語による解説を加えて和訳した。サンスクリット語は kanakani-la abja / paṇi-padmā-vibhūṣite

はそれが独立した仏として仏頂尊となり、『仏頂尊勝陀羅尼』などで讃えられる。遷化後、初代タライ・ラマ号を追贈されたゲンドウン・ドゥパ (dGe 'dun grub pa 一三九一〜一四七四) は、讚入の注釈で「ターラーは一切の如来の母であるがゆえに如来たちはその肉髻として彼女を頭に乗せている」としている。安蔵の漢訳では「敬禮如来頂髻母/最勝能滿無邊行/得到彼岸盡無餘/勝勢佛子極所愛」とある。

- (5.1) 汝を讃歎(す)る。トゥッターラ・フォーム (という) 語音 (で)
- (5.2) (ターラーは) 欲 (界) と方位と虚空を満たす

(解説) (5.1) トウッターラ・フォームはターラーのマントラの一部。サンスクリット音で tutāra hūṃ. 眞言は呪 (咒) ともいわれる仏の秘密の言葉、聖なる音。この音を唱えることにより仏に通ずる。tutāra は文法的には解釈が困難だが、ゲンドウン・ドゥパの説明では、ターラーの空に基づく慈悲を象徴する語とされる。ここではトゥッターラとあるが、唱えるマントラでは、トゥッターレーとなつている。(5.3) 七界は、三界・六界にからべ稀な区分で、讚の注釈でも種々に解釈されている。ここでは詳しく述べる紙幅がないが、衆生の住む「人界」を含むすべての世界・宇宙などと捉えられる。安蔵の漢

訳では「敬禮恒囉吽字母/聲愛方所滿虚空/運足遍履七世界/悉能鉤召攝無餘」とある。Sでは「フーン」の音声を発するターラー (Sgrol ma hūṃ sgra srgogs ma) と名付けられ、サンスクリット語ではターラー・フーン・スヴァアラ・ナーディニー (Tārā hūṃ svāra nāḍīnī) となる。Nでは「理解するターラー (Sgrol ma rig byed ma)」と呼ばれ、サンスクリット語ではクルクッラー (Kurukullā) とされる。クルクッラーの意味は不詳で、この菩薩が住む山の名前に由来するとの説もある(田中公明『チベットの仏たち』方丈堂出版、二〇〇九年)。種々の尊格への供養法・修法を説いた『サーダナマラー』などの記述に従い、クルクッラーは身体は赤色で二面四臂に描かれることが多い。

放生会
殺生禁断の思想に基づいて、捕らえた鳥や獣、魚等を野に放つ儀式。日本では、供養のために各地の寺院や八幡神を祀る神社において行われてきた。



絵・橋本豊治

放生会

高尾山物語 24

寛永の再興後、江戸時代を通じて高尾山は庶民のみならず、様々な武家や商家の信仰を集めておりました。

特に八代將軍の徳川吉宗を輩出した、紀州徳川家からは特に篤い信仰を受けました。吉宗から紀州藩主の座を受け継いだ従兄弟の宗直は不動尊像と護摩壇を奉納したと伝えられております。

また、古文書には紀州徳川家による「御鷹奉納」という記事も残されており、高尾山において、鷹を野に放つ放生会が行われたことが分かります。

高尾山における放生会の具体的な様子は伝わっておりませんが、紀州徳川家だけではなく、幕府の鷹匠も参加して享保三年、六年、十四年、十五年と数回行われた記録が残っております。

会社づくめの生きてくくことも善悪はじめ大事です



健康登山者投稿作品
人懐っこいアサギマダラ蝶
品川区 中嶋 涉

今までも、高尾山にはハイク仲間と度々訪れておりましたが、ある年の節分会に出かけてから、妻と二人で「健康登山」に参加するようになりました。何度となく出かけているうちに、夏になると「コー」途中中、旅をする蝶として有名な「アサギマダラ蝶」を頻繁に見かけるようになりました。

特に薬王院前の御護摩受付所付近では不思議と人懐っこい「アサギマダラ蝶」がいて、私達夫婦にまとわりついて離れようとはしない仕草には、可愛いと同時に気分的にも癒されました。

これからも御護摩受付所が、参拝者とアサギマダラ蝶にいつまでも好かれる場所であって欲しいです。

健康登山者投稿作品

季節の絵手紙「笑顔で一日を」

八王子市 橋谷玲子 様



一步一步煩惱滅除

百八の階段を昇り、悩みや煩い事を取り除きましょう

八十七段 優越感を持つな

人は自分が劣っている部分を認めたくないからこそ、他人に対して優越感を持ち、自尊心を保とうとします。つまり、優越感とは劣等感の裏返しです。大切なことは自分の弱さを認め、克服しようとすることです。

高尾山 季節散歩

暦の言葉
「七十二候」
虹始見

「にはじめてあらわる」

四月十四日〜四月十九日頃
気温が温かくなり、にわか雨が多くなるこの時期には、空に虹が架かりやすくなります。
日本では虹の色は「赤橙黄緑青藍紫」の七色で表現されることが多いですが、七色がはつきり見えると、うれしい気がします。

今月の風物詩
野遊び

かつては農業や漁業などの仕事で忙しくなる前に、春の一日を「物忌み(心身を浄める日)」として、山で野遊びをしたり、海で磯遊びをしておりました。
その風習は、現在ではハイキングや潮干狩りなどの行楽に姿を変えて残っております。

健康登山の皆様へ

高尾山報投稿の御案内
御護摩受付所では、皆さまの「健康」に関する思いや思い出・習慣、又は「健康登山」を通じて経験した出来事などの心温まるお話を聞かせて頂いております。
そこで、皆様のお話を多くの方々に届けたいです。また、多くの方に投稿頂きました場合、掲載までお時間を頂く場合がございます。すこすことを御了承下さい。

「高尾山健康登山の証」のお勧め

年間約二百八十万の人々が訪れ、「世界一登山者の多い山」として知られている高尾山。登山者の皆様の励みになれば、との思いから平成十一年から健康登山を始め、いまでは約五十万人の方々が会員となられております。



帳面……七百円
スタンプ……百円

まずもって、この度の新型コロナウイルスに罹患された皆様、また日常生活に影響を受けていらっしゃる皆様様に、心よりお見舞い申し上げます。令和初の新年度を迎えました。お勤めや学校に通っている方は環境が変わる方もいらっしゃるかと思います。心機一転、頑張っていきたいと思います！私も前回からこちらに記事掲載させて頂きました。簡単に自己紹介をさせて頂きます。私は佐藤宗明と申しまして、池坊という流派の華道教授をしています。



今回の花材：桜・松

でござります。さて、今回の作品は日本人にとって馴染み深い花、桜の作品です。池坊では桜を特別な花材の一つとして位置付けられています。この作品は山々に咲き誇る桜を表現しています。

中央上段は山の山頂にある桜、中段、下段と下がるにしたがい、中腹、山麓に咲く桜の表現となつていきます。暖かくなる麓から順に山頂に向かって開花していく風情を感じて頂けるでしょうか。自然の姿を感じて、自分の想いを込め、一瓶の中に表現するというのがいけばなの心です。次回も季節のお花をお届けしたいと思っております。

いけばなの心②

華道教授 佐藤 宗明

院内散歩

薬王院の展示物

38



木版画 『陽春大仏殿』 作・井堂雅夫

おはなし散歩道

朝のあいさつ

八王子市 池田美絵

四年生になったタクヤくんは、ホームルームの時、先生はクラスのみんなに「朝のあいさつをしましょう」と言われた。家で「お母さんに話すと」「いいこと教わったね」と喜んでくれたので、「ぼくも朝のあいさつにチャレンジしよう」と決意した。

「お父さん、お母さん、おはようございます！」翌朝、目を覚ましたタクヤくんは、まず、お父さんとお母さんにあいさつすると、「タクちゃん、おはよう！」と優しい声で返してくれた。

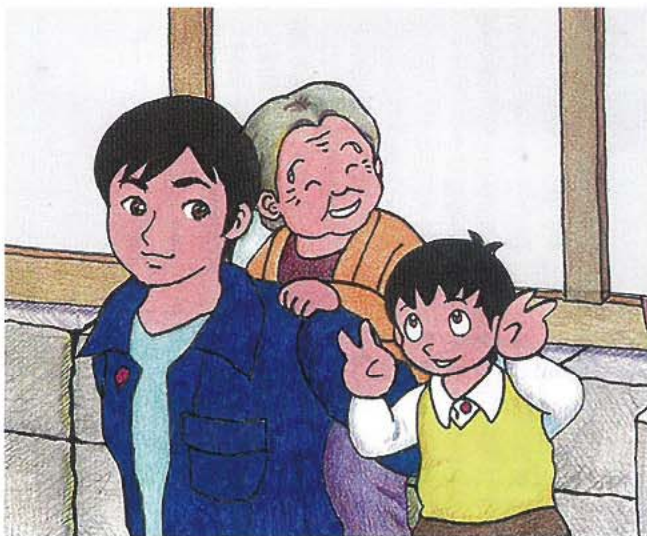
そして、窓際で日向ぼっこをしている黒猫のミーコは、「ニャーン（お

はよう）」と返事をし、水槽で泳いでいたカメのみどりちゃんも口を大きく開けて「おはよう」と言ってくれた（気がした）。通学途中も、タクヤくんはあいさつを忘れなかった。植え込みでなにやらついでにのびのびと伸びているスズメたち、散歩中のブルドックに声をかけた。「あいさつするって気持ちがいいなあ」。快調に一日のスタートが切れる。これからはもうずっと、あいさつをしようと思った。

ところが、あいさつは案外と難しかった。仲の良い人となら自然とできるのだが、話をしたことがない人や苦手だと思ってる人には声をかけづらい。「あいさつは分け隔てなくすることが大切よ」とお母さんは励ましてくれた。

ある朝のこと。学校につながる通りに入る手前の路地で、おばあちゃんがしゃがんでいるのが見えた。何かあったのだろうか。知らない人だけれども、黙って通り過ぎることはできない。タクヤくんは勇気を出して「おはようございます」と声をかけた。

ところがおばあちゃんには、うつむいたまま顔をゆがめるだけ。心配になったタクヤくんが「大丈夫ですか」と聞くと、「足首をくじいた」とか細い声が返ってきた。（ぼくは学校だし、おばあちゃんを一人にしておけないし……）。タクヤくんが途方に暮れていると、偶然近所に住む大学生のヒロユキさんが通りかかった。「タクくん、おはよう！」。「この人ですね……」。タクヤくんは一生懸命状況を訴えた。ヒロユキさんは、おばあちゃんを家まで連れて行くという。タクヤくんも手伝って、おばあちゃんをゆっくり



立たせると、おばあちゃんは何度も何度も「ありがとう」と言った。（ひどいけがじゃないといいけど）と、おばあちゃんを支えながら身を案じていた。

数日が過ぎたある日、この間の路地で、おばあちゃんが、にこにこしながら手を振っているのが見えた。

「朝のあいさつをするって、いいことあるなあ！」心の中でガッツポーズした。（挿し絵・小出 茂）

富士登拝修行 代参守のご案内

富士登拝修行は平成十九年に執行され、本年度で四度目の登拝となります。本年も七月上旬に、高尾山麓から富士山頂へ登拝修行を予定しております。例年の如く徒歩修行にあたり代参守りを有縁の皆様方に授与致します。

道中、各参拜所で、東日本大震災により被災された方々のご安全、被災地の早期復興、国土安穩の祈りを込めながら、富士山頂での法楽においては、申込者の御芳名を読み上げ、諸願の成就を祈念いたします。その後、高尾山麓での成満柴燈大護摩供にて御守を御加持したのち、登拝修行期間中、御宝前にて祈願されている牌伝(木札)と共に授け致します。

古式に則り高尾山より歩いて参拝する、富士詣霊峰富士登拝修行の代参守、本年一年の、諸縁吉祥・諸願圓滿の為に、ここに御案内致します。

尚、代参守は高所運搬が伴うため、数量に限りがあります。ご了承ください。

※本年は新型コロナウイルスによる感染症の流行の為、行程が変更になる可能性があります。



授与料

代参守と牌伝合わせて 一体壹千円以上

申し込み

山上・お護摩受付所又は、葉書に、郵便番号・住所・氏名(富士山頂にて御芳名の読み上げを致しますので必ずフリガナを明記して下さい。)

電話番号を明記して、左記までお申し込み下さい。

締切 六月三十日(火)

〒一九三一八六八六
八王子市高尾町二七七
大本山高尾山薬王院内
富士登拝事務局

高尾山春季大祭

お稚児募集中止のお知らせ

三月号で御案内しておりました、「高尾山春季大祭お稚児募集」につきましては、現在発生している新型コロナウイルス感染症が拡散している状況を受け、協議の結果、沢山の子ども達をはじめ参加者、関係者の健康・安全を第一に考慮した結果、本年の募集を中止することに致しました。

参加を検討して頂きました皆様には、急なご案内となり、ご迷惑をおかけしますが、ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

また、ご不明点・ご質問等ございましたら薬王院までご連絡下さい。

郵送御護摩申し込み受付について

高尾山では大本堂に於いて、毎日御護摩修行を行っております。遠方の御信徒や、感染症流行により参拝できない御信徒の皆様のために、御護摩札の郵送をお受けしております。

手紙、FAX等での申し込みをお願いしておりますが、「高尾山薬王院公式ホームページ」内の御護摩祈禱の御案内からインターネットにて、直接お申し込み頂くことが出来ますので、是非ご利用頂きますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先 ☎ 〇四二・六六一・二二五
「郵送御護摩係」まで

高尾山秀峰会各行事 日程延期のお知らせ

新型コロナウイルス感染症対策の政府基本方針に基づき、本年に実施を予定していましたが左記の三行事に対して、延期する事を決定致しました。

高尾山内八十八大師巡拝

五月十二日(火)

第百十七回 高尾山信徒峰中修行会

六月六日(土)〜七日(日)

第十七回 高尾山子供やまぶし修行体験会

八月二日(日)

皆様には何卒ご理解の程お願い申し上げます。

※日程等詳細につきましては、薬王院公式ホームページにて掲載いたします。

第十一箇度

相州大山登拝修行実施について

先月号にてご案内申し上げました、本年度の相州大山登拝修行は、新型コロナウイルス感染症対策の基本方針に基づき、一般修行者は募らず、当山先達により、皆様の諸願成就をご祈念し、執行致します。

ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

高尾山報助成金志納者 御芳名(順不同・敬称略)	伊勢崎市 岩村 ユキ子	所沢市 吉崎 元
練馬区 稲毛 英子	柏崎市 田辺 ヒサエ	あきる野市 執行 晃弘
八代市 庄司 和子	日野市 小坂 ワカエ	吉崎 晃弘
八王子市 小池 まり子	小平市 福島 秀雄	あきる野市 執行 晃弘
狭山市 日野岡 保次	荒川区 北川 晴也	吉崎 晃弘
八王子市 新井 茂二	相模原市 高橋 啓子	あきる野市 執行 晃弘
見城 勇夫	世田谷区 水田 文敏	吉崎 晃弘
黒須 隆一	前橋市 八木原 茂	あきる野市 執行 晃弘
友井 葉子	所沢市 北田 とも	吉崎 晃弘
高橋 洋子	川口市 岡部 永子	あきる野市 執行 晃弘
菅沼 千代子	深谷市 木島 富士夫	吉崎 晃弘
菅地原 義明	八王子市 落合 義晴	あきる野市 執行 晃弘
笹本 イヅミ	新座市 彰山 粧麗	吉崎 晃弘
村瀬 禮子	川口市 八木橋 弘子	あきる野市 執行 晃弘
金子 喜美子	佐野市 荒居 幸子	吉崎 晃弘
坂口 安宏	市原市 斎藤 幸子	あきる野市 執行 晃弘
嵐明	千葉市 新井 千枝子	吉崎 晃弘
飯嶋 春江	郡山市 美濃部 良	あきる野市 執行 晃弘
磯部 幸江	相模原市 磯部 幸江	吉崎 晃弘
成子	横濱市 岡田 成子	あきる野市 執行 晃弘
太郎	朝霞市 岡田 太郎	吉崎 晃弘
正一	加藤 正一	あきる野市 執行 晃弘
秀介	八王子市 加藤 秀介	吉崎 晃弘
和義	小林 和義	あきる野市 執行 晃弘
秀男	高橋 秀男	吉崎 晃弘
陽子	伊藤 陽子	あきる野市 執行 晃弘
宏之	飛鳥 宏之	吉崎 晃弘
南波 和子	中山 多重	あきる野市 執行 晃弘
延子	松村 延子	あきる野市 執行 晃弘
倉蔵 倉蔵	小倉 倉蔵	あきる野市 執行 晃弘
和則 和則	井上 和則	あきる野市 執行 晃弘
宏和 宏和	保立 宏和	あきる野市 執行 晃弘
憲子 憲子	金子 憲子	あきる野市 執行 晃弘
久子 久子	高橋 久子	あきる野市 執行 晃弘
栄 栄	中村 栄	あきる野市 執行 晃弘
重信 重信	大野 重信	あきる野市 執行 晃弘
一男 一男	大塚 一男	あきる野市 執行 晃弘
高道 高道	谷合 高道	あきる野市 執行 晃弘
房子 房子	加藤 房子	あきる野市 執行 晃弘
有市 有市	海老根 有市	あきる野市 執行 晃弘
隆二 隆二	山田 隆二	あきる野市 執行 晃弘
栄一 栄一	岩崎 栄一	あきる野市 執行 晃弘
さと さと	笠原 さと	あきる野市 執行 晃弘
佐那 佐那	田中 佐那	あきる野市 執行 晃弘
壽子 壽子	松村 壽子	あきる野市 執行 晃弘
辰年 辰年	石原 辰年	あきる野市 執行 晃弘
妙子 妙子	藤田 妙子	あきる野市 執行 晃弘
次男 次男	天野 次男	あきる野市 執行 晃弘
院 院	伊藤 院	あきる野市 執行 晃弘
充 充	小宮 充	あきる野市 執行 晃弘
良子 良子	近藤 良子	あきる野市 執行 晃弘
雅巳 雅巳	中里 雅巳	あきる野市 執行 晃弘
音二 音二	清水 音二	あきる野市 執行 晃弘



登山だより

五月行事日程

一日〜七日

聖天秘供(聖天堂)

八日、二十日

弁天様御縁日

十一日、二十六日

御詠歌勉強会

(十時山麓不動院)

八日

仏舍利詣り(仏舍利塔)

十八日

高尾山天狗まつり

二十三日

月例写経会

(十三時山麓不動院)

三十一日

高尾山とんとんむかし

「語り部の会」

(十二時半山麓不動院)

二十一日

飯縄様御縁日

神徳報謝百味飲食供

(九時大本堂)

二十八日

奥之院開扉供養

(十時奥之院)

☆神徳報謝百味飲食供

高尾山御本尊飯縄大権現様の日々の御加護に感謝し、沢山の御供物を捧げて御本尊様威光倍増の為に御供養申し上げる法要です。

皆様の御志納を受け付けておりますので、ご希望の方は大本堂までお申し出下さい。

尚、法要終了後に百味のお札を授与致します。
毎月二十二日午前九時勤修御志納金 一口三千円以上

毎日の お護摩奉修時間

(4月15日〜10月31日まで)

午前5時30分
" 9時30分
" 11時00分

午後0時30分
" 2時00分
" 3時30分

ご講中・団体等御相談下さい。

高尾山の昆虫

ドロハマキチヨツキリ

126

ゾウムシ一群にハマキチヨツキリの仲間がいて、母虫が葉を巻いて揺籃を作ることが知られ、産卵後の葉を切り落とすものがあるのでチヨツキリという呼称が付いています。

食物連鎖の上位にいる魚類が、卵を産みつばなしどころか食べてしまうこともあるなかで母虫が自分の産んだ卵が無事に孵化し、幼虫が健やかに成長することを願い、様々な工夫をすることで若干の感動的な思いを抱かずにはいられません。

ドロハマキチヨツキリは主にドロノキの葉を巻くから命名され、漢字では(泥葉巻短截虫)と書きます。本種は色彩変異があり、金緑色で肩に赤い紋が出るタイプが一般的ですが、高尾山では全身が青藍色に輝くタイプが多くとても綺麗です。

僅か六ミリ内外の小さな甲虫ですが、森の中の宝石と称されても過言ではないと思います。残念なのは右記のとおりドロノキに見られることが多いための和名ですが、泥という汚濁な印象を与えるのは気の毒で、カエデ科、ブナ科等広域な木の葉も巻きますからもつとお洒落な和名を付けてやりたい所です。

高尾で見られる本種は特にオオルリハマキチヨツキリと呼んで上げたいですね。

(撮影・文松島 孝)



◆お知らせ

高尾山薬王院では、新型コロナウイルスの感染予防を図る為、境内各所への消毒液設置・換気・職員のマスク着用などの対策を実施しております。御来山の皆さまにおかれましては、手洗いや咳エチケット等の予防対策情報に十分留意されますようお願い申し上げます。

◆月例写経会 中止のお知らせ

四月二十五日に予定されておりましたが、月例写経会につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止させていただきます。

ご理解を頂きますようお願い申し上げます。

高尾山薬王院ホームページ
<http://www.takaosan.or.jp>

発行所
東京都八王子市高尾町2177
大本山
高尾山薬王院
郵便番号 193-8686
電話(042)-661-1115(代)
FAX(042)-664-1199
発行人 菅谷 秀文 芳
編集人 渋谷 秀芳
印刷 ヒラツカ印刷社
毎月1回1日発行
1部50円